本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (652) 0801
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里38番6号	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町356	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目6	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29－1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3) 2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀 680の1	☎草津 0775(62) 5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12番11号	☎彦根 0749(22) 3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2) 7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

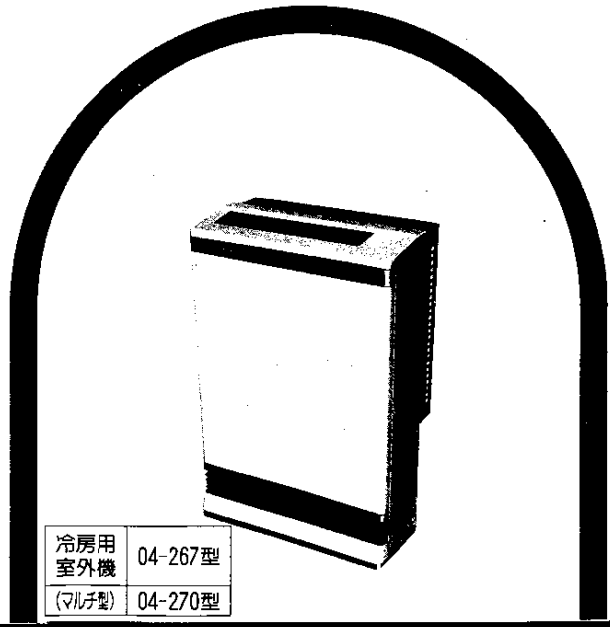
84.02.(00)

大阪ガス

ガス ファンヒーターエアコン
取扱説明書 44-350型

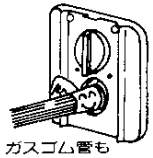
保証書付

形式の呼び RHA-2216-1
RHA-2216-2

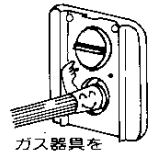


冷房用室外機	04-267型
(マルチ型)	04-270型

ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管もときどき点検よいゴム管をカッチリと



ガス器具をお使いになったあとは必ずガス元せんも閉める習慣を

ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーターエアコンをお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

- 各部の名称とはたらき……1
- 特に注意していただきたいこと……2～5
- 器具の設置……6～7
- 冷房運転について……8
- 使用手順……9
  - （冷　房）……10～13
  - （暖　房）……14～16
- 上手なご使用のしかた……17
- 使用時のご注意……18～20
- 日常の点検・お手入れ……21～22
- 故障・異常の見分け方と処理方法……23～24
- アフターサービスのお申し込み……25
- 特　　長……26
- 寸法図と仕様一覧表……27～29

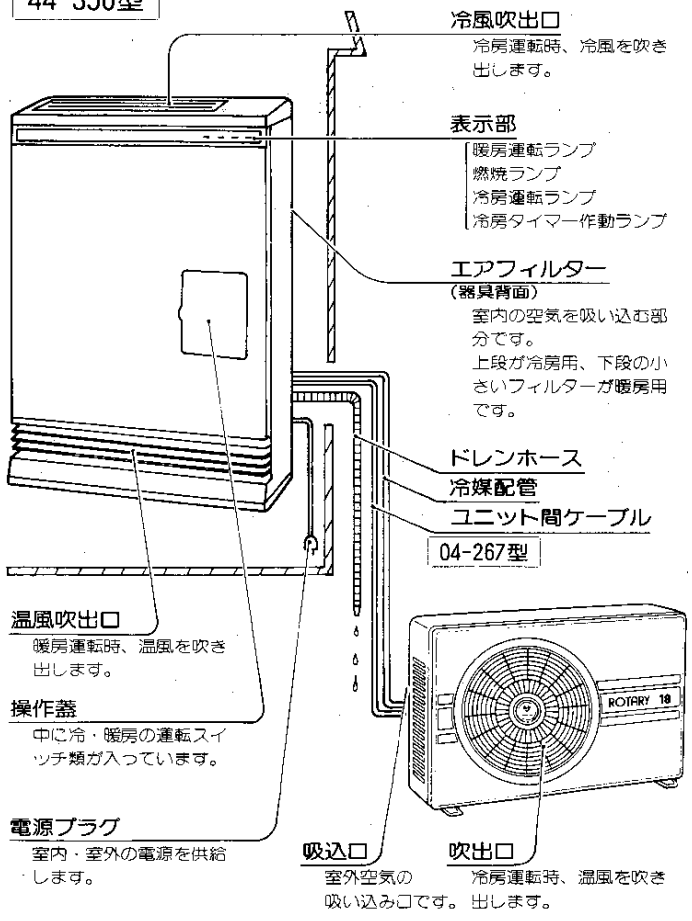
換気にご注意（暖房時）

この器具は、強制給排気式（ＦＦ式）ではありませんので換気が必要です。

ファンヒーターエアコンとは

ファンヒーターエアコンは、室内機と冷房用室外機を接続することにより空調機としての機能を発揮します。

44-350型



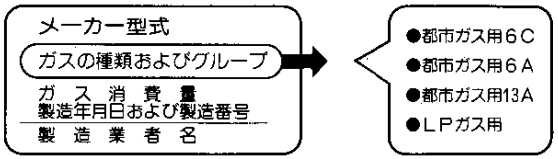
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

● **ガスの種類を確かめてください。**
ガス器具本体の右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

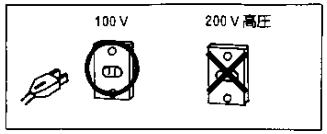
（銘　板）



● ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
● 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

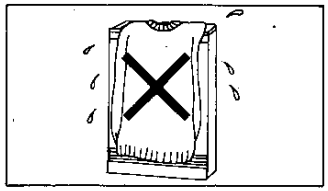
電源について

● **電源の電圧と周波数を確かめてください。**
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。



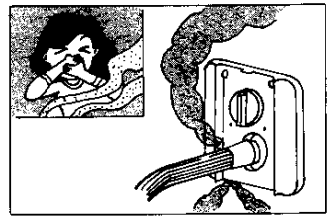
使用場所について

● **冷暖房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しないでください。**
衣類などを器具の上に置いたりしますと、温風の出口や吸込口がふさがれてしまい、器具内に熱がこもり、異常過熱して器具に悪影響を与えることがあります。



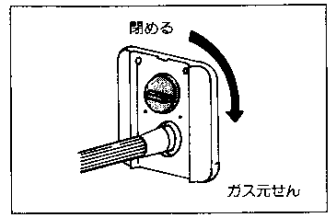
使用上のご注意

ガス漏れ予防



● ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。
ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。

● ゴム管は良質のものを用い、使用３年位を目安にとりかえてください。
古くなりますと、抜けやすくなったりヒビ割れして、ガスもれの原因になり危険です。



● 使用後は必ず器具せんを閉じ消火したことを確かめてください。

● お出かけやおやすみの際には、ガス元せんも必ず閉じてください。

ガス事故防止

● ガスもれに気づいたときは、ガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

● 万一ガスがもれたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜きさしなど）しないでください。
火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

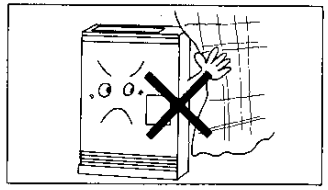
異常時の処置

● ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用をやめ、器具せんつまみ、ガス元せんを止め、電源プラグを抜いて十分な点検をお願いします。
〔故障・異常の見分け方と処置方法については23ページをお読みください。〕

特に注意していただきたいこと③

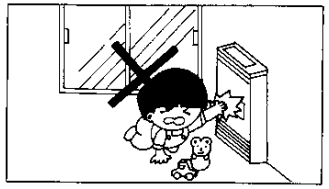
火災予防（暖房）

● 器具の上やそばに、燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。また、紙、布、など可燃物を温風吹出口や吸込口に入れないでください。

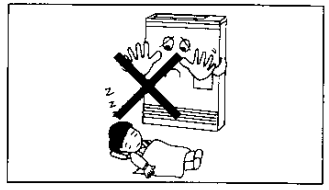


やけどのご注意（暖房）

● ご使用中および使用直後は、温風吹出口とその周辺およびエアフィルター部は熱くなりやけどのおそれがありますので、手を触れたりしないでください。特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。

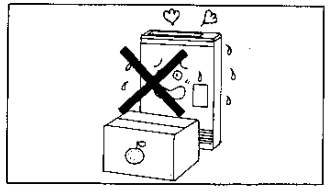


● 温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意してあげてください。



過熱防止（暖房）

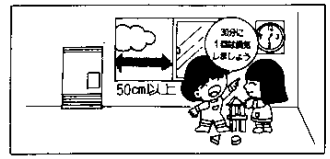
● 温風吹出口の前に物を置いたり、器具の後面（エアフィルター部）をふさいだりしないでください。
異常過熱して、器具に悪影響をあたえるばかりでなく、お部屋があたたまらないこともあります。



特に注意していただきたいこと④

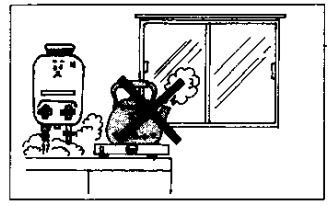
換気のご注意（暖房）

● 使用中は30分に１回、１分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして十分な換気をおこなってください。
この器具は強制給排気式（ＦＦ式）ではありませんので換気が必要です。



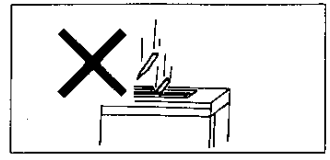
換気のご注意（冷房）

● 長期間運転するときは換気に注意してください。
ガス器具等を使用している場合は閉めきったままですと酸素欠乏になりますのでときどき窓や戸を開いたり、換気扇を運転したりして換気を行ってください。
（このファンヒーターエアコンには換気装置は装備されていません。）



異物落下のご注意

● 冷風吹出口に異物が落ち、器具の内部にはいらないよう注意してください。
● 冷房シーズン以外は冷風吹出口カバーでふたをしてください。



水ぬれのご注意

● 器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。内部が水でぬれますと、腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険があります。

[illegible]

● 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。〔詳しくは21ページをお読みください。〕
● 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

器具の設置

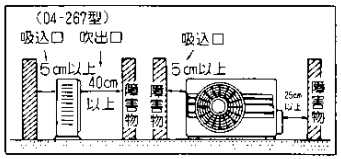
■ 冷房用室外機にサービスカバーをかぶせてある場合は、ご使用前に必ずはずしてください。

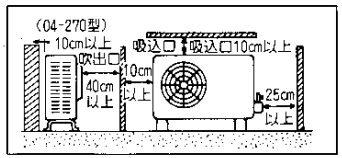
据付場所について

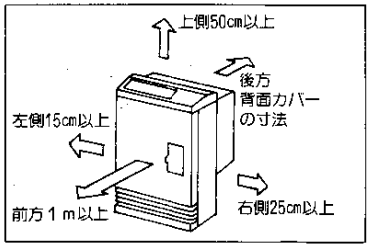
①可燃性ガスの流れるおそれのあるところはさけてください。
②ファンヒーターエアコンは、理・美容院など、ヘアースプレー（フロンガス）を常時使うような場所でのご使用は、おさけください。
③特殊な場所での据付けは、サービスショップにご相談ください。
機械油の多いところや、海浜地区などの塩分の多いところ、温泉地帯などの硫化ガスのあるところなどファンヒーターエアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用すると、多くの場合、故障のもとになります。このような場所でご使用の場合は、サービスショップにご相談ください。
④ドレン水の処理しやすいところに据付けてください。
ドレン配管は屋内を通る部分をできるだけ短かくし、ドレン水は隣家などに迷惑のかからないようにしてください。
⑤転倒を防ぐため、背面カバー上板のつめが、器具固定金具と壁の間に入っていることを確認してください。

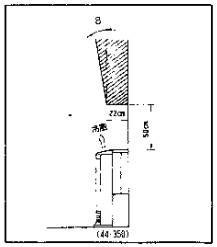
据付けスペースについて

● 障害物との距離は下図のように取って据付けられているか確認してください。









騒音にもご配慮を

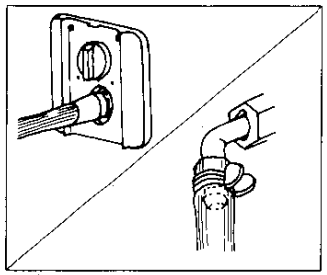
- 据付にあたっては、ファンヒーターエアコンの重量にじゅうぶん耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- 冷房用室外機の吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 冷房用室外機の吹出口近くに物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- ファンヒーターエアコンをご使用中異常音がする場合などにはお買い上げのサービスショップにご相談ください。

電気配線について

①電源は専用回路をご使用ください。
電源はファンヒーターエアコン専用回路を設け、他の電気製品と共用しないでください。
②万一の感電事故防止のためアースを取り付けてください。
やむを得ず、水気または湿気の多い場所に据付けてご使用になる場合は法律（電気設備技術基準）で第３種以上の接地工事（接地抵抗 100 オーム以下）を義務づけられていますので、必ず電気工事店に依頼してください。

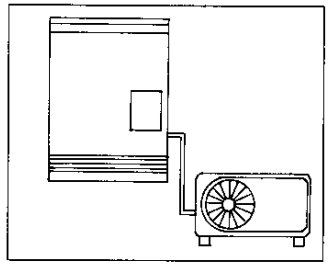
ゴム管の接続

- 「カチット」方式の接続は確実に押しこんでください。
- ゴム管は 9.5㎜φ（内径）のゴム管を使用し、ガス元せん・器具のホースエンドとも赤線まで十分にさしこんで、ゴム管止めでしっかり止めてください。



冷房運転について

● 3分間保護タイマーが付いています。
冷房運転をいったん停止にしてすぐに再運転しても機械に無理がかからないように保護装置のはたらきで約3分間は冷房用室外機が運転しないようになっています。保護装置がはたらいている間室内機は送風運転をしています。約3分後には自動的に正常な運転になります。



● 冷房運転開始時や停止直後に水が流れるような音がすることがあります。これは内部のガス（冷媒）が流れる音で、機械の故障ではありません。

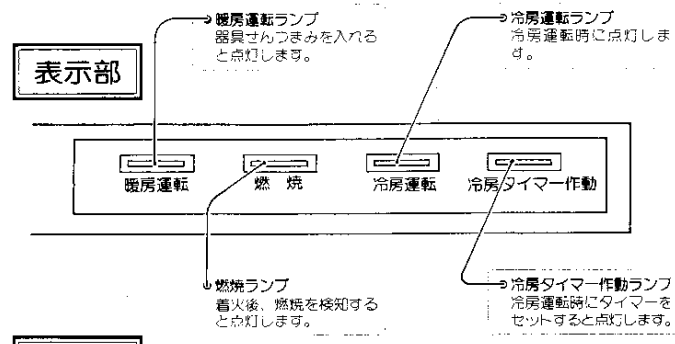
● 冷房運転によってお部屋がにおうことがあります。
これは壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んでいるにおいが出てくるためで、機械の異常ではありません。

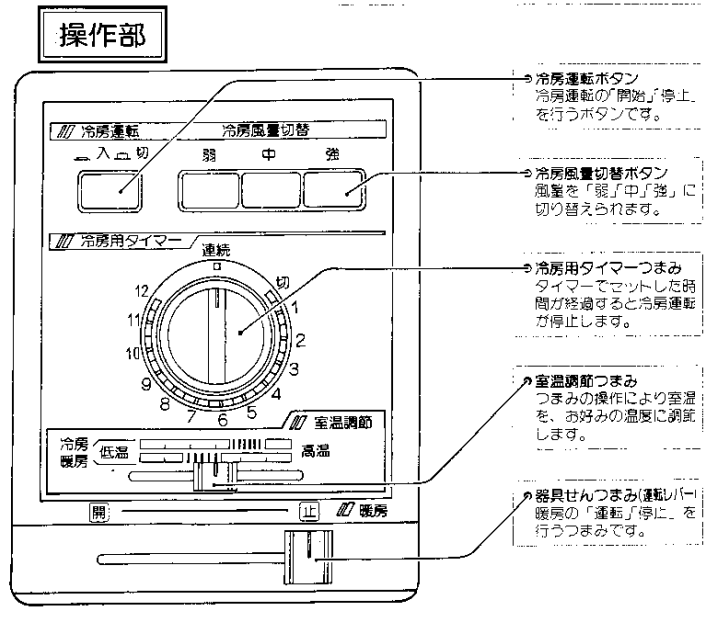
冷房運転時に、ファンヒーターエアコンを効率よくお使いいただくため、下表の条件を参考にしてください。

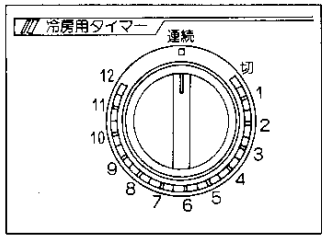
	室内温度は……	室内湿度は……	室外温度は……
冷房運転	**約約21℃以上** 約21℃より低い温度で運転しますと、保護装置がはたらき冷房運転ができなくなることがあります。	**80%以下** 高い湿度の中で長時間冷房運転しますと、吹出口付近に露が付き室内に滴下することがあります。	**約21℃以上43℃以下** 約21℃より低い温度で運転しますと、保護装置がはたらき冷房運転ができなくなることがあります。 約43℃より高い温度で長時間冷房運転しますと保護装置がはたらき、冷房運転ができなくなることがあります。

使用手順

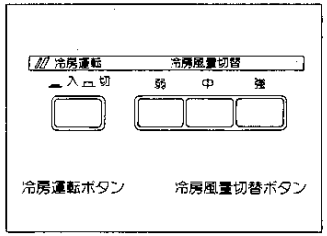
操作部の名称とはたらき



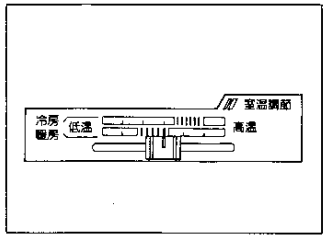




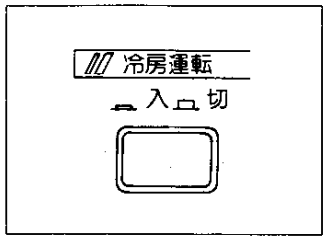
①冷房用タイマーを連続の位置にします。



②冷房風量切替ボタンを押して「強・中・弱」のいずれかにセットします。



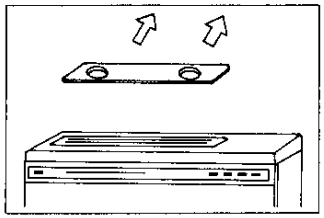
③室温調節つまみをお好みの位置にセットします。



④冷房運転ボタンを押して「入」にしてください。
このとき本体の冷房運転ランプが点灯します。

冷房運転時のご注意

- 冷房運転時は必ず、冷風吹出口カバーをはずし使用してください。



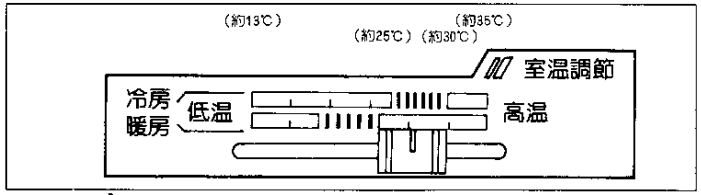
- 冷房運転中、室内温度が異常に低いとき、またはエアフィルターの目づまりによって風量が著しく減少したときなど熱交換器が凍結し破損するのを防止するため、保護装置により、一時冷房運転が停止します。
- 「室温調節つまみ」のセット温度より室温の方が低い場合には、送風されるだけで、冷房運転はしません。
- 冷房運転の風量は「冷房風量切替ボタン」によって、〝弱風〟〝中風〟〝強風〟に切り替えられます。お好みのボタンをしっかりと押し込んでください。
- 「弱」「中」「強」のどのボタンも押し込まれていない場合は、「中」の風量で運転されます。
- 冷風吹出口に異物を落とさないよう注意してください。

冷房運転の停止のしかた

- 冷房運転ボタンを押して「切」にしてください。
- 冷房運転ランプが消え、冷房運転を停止します。

室温調節について(冷房)

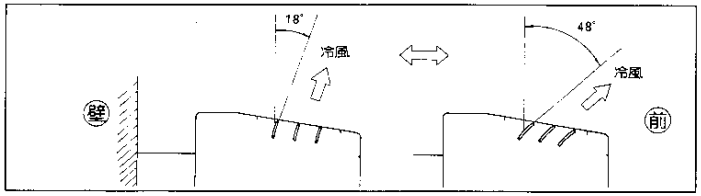
- 「室温調節つまみ」でお好みの温度に調節してください。
  ルームサーモの働きにより、冷房運転、送風運転をくりかえし、室温を自動的に調節します。
- 「室温調節つまみ」のセット温度の目安は以下のようです。
  "25℃～30℃" のゾーンでご使用になることをお勧めします。



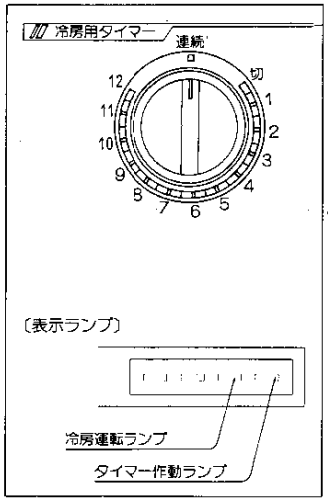
＜ご注意＞
「室温調節つまみ」のセット温度は、ルームサーモ感温部の温度です。部屋の温度計とは必ずしも一致しません。あくまでも目安と考えてください。また、家屋の構造、外気温度、使用場所によっては、お好みの温度にならない場合があります。

風向調節のしかた(冷房)

- 冷風の風向きは２段階に調節できます。
  風向板(ルーバー)の左右両側を持って、お好みの位置にセットしてください。



- 冷風の風向きを左・右に変えるには、風向板のおくの仕切板を棒状のもの（ドライバーなど）で動かしてください。



- このタイマーはおやすみタイマーです。
  セットした時間が経過すると、冷房運転が停止します。

①「冷房用タイマー」をお好みの位置にセットしてください。12時間までセットできます。

②「冷房運転ボタン」を "入" にしてください。

③「冷房運転ランプ」と「タイマー作動ランプ」が点灯することを確認してください。
これで、冷房タイマー運転が開始します。

④「冷房風量切替ボタン」でお好みの風量にセットしてください。

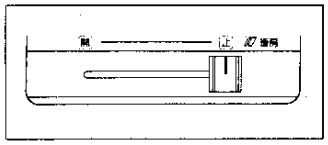
⑤タイマーでセットした時間が経過すると、運転は停止します。
この時、表示ランプはすべて消灯します。

タイマーをお使いになるときのご注意

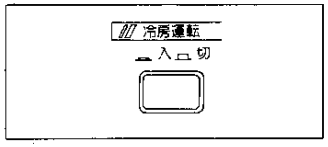
- タイマーの運転停止後は、「冷房運転ボタン」は "入"、「冷房用タイマー」は "切" の位置にありますので、再運転する場合は、「冷房用タイマーつまみ」を "切" から "連続" の位置に回してください。
- 冷房運転中にタイマーをセットする場合は、「冷房用タイマーつまみ」を右方向に回しますと、一旦、"切" の位置を通りますので、３分間保護タイマーが作動します。
- タイマーを２時間以内にセットしてご使用になる場合は、いったんつまみを４時間以上に回してから、お望みの時間までもどして、時間をあわせてください。

使用手順⑥

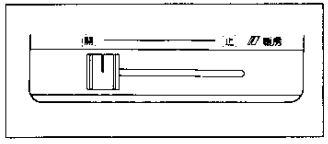
暖房運転のしかた①



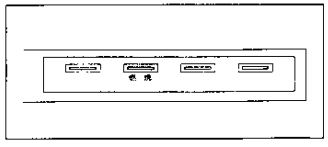
①器具せんつまみ(運転レバー)の 止 を確認し、ガス元せんを全開にします。



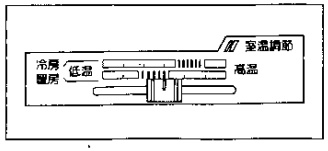
②冷房運転ボタンが「切」になっていることを確認します。



③器具せんつまみを 開 の位置まで確実にスライドさせてください。
このとき、本体の暖房運転ランプが点灯し、スパークがはじまり、バーナーに点火します。



④点火後、10秒ほどして、燃焼ランプが点灯することを確認してください。



⑤室温調節つまみをお好みの位置にセットします。

暖房運転時のご注意

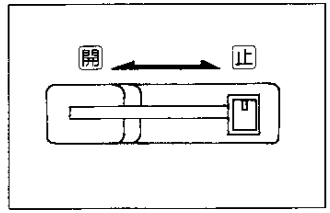
- 初めて使用するときなどは、ゴム管内に空気が入っているため、点火するまでに時間がかかることもありますので、点火するまでしばらくお待ちください。
  40秒程たっても点火しない場合は、スパークが止まりますので、再度運転操作をやりなおしてください。

使用手順⑦

暖房運転のしかた②

- 運転後1分程たってから、ルームサーモ（室温調節器）の働きによって、運転状態が自動的に切り替わります。
- 暖房運転中に「冷房運転ボタン」を〝入〟にしないでください。
  これを行いますと対流用ファンも同時に停止しますので器具が異常過熱するおそれがあります。
- 運転・停止をくりかえしますと、着火音が大きくなったり、器具が過熱することがあります。

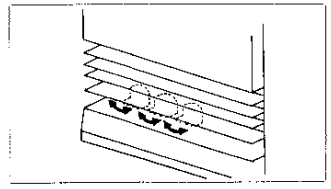
停止のしかた



①器具せんつまみ(運転レバー)を 止 の位置まで確実にスライドさせてください。
②表示ランプはすべて消えますが対流用ファンは数分間回り続けて、自動的に止まります。
- ご使用後は、ガス元せんも閉じてください。

<ご注意>
停止操作後、対流ファン(温風)が止まるまで電源は抜かないでください。器具内部の熱を出して過熱をふせぐために必要です。使用中、電源プラグを抜いて停止することはしないでください。

風向調節について(暖房)

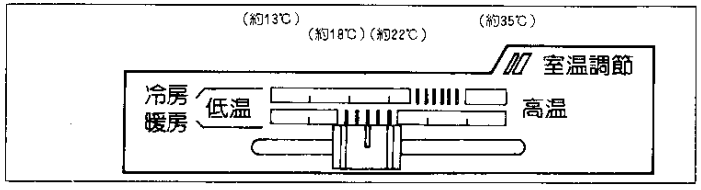


- 風向は左右に調節できます。(半固定式)
  左右の調節は、ルーバーの間から行ってください。ただし、調節は2～3回以上くりかえさないでください。
  何度も調節すると折れてしまいます。
- 風向は、上下には調節できません。

<ご注意>
使用中および停止直後は、ルーバー付近は熱くなっています。やけどのおそれがありますので、風向調節は器具が冷えたときに行ってください。

室温調節(暖房)

- 「室温調節つまみ」でお好みの温度に調節してください。
  - ルームサーモ(室温調節器)の働きにより「強燃焼」・「弱燃焼」の切り替えで自動的に室温を一定に保ちます。(燃焼を止めません。)
- 「室温調節つまみ」のセット温度の目安は以下のようです。
  "18℃～22℃" のゾーンでご使用になることをお勧めします。



<ご注意>
「室温調節つまみ」のセット温度は、ルームサーモ感温部の温度です。部屋の温度計とは必ずしも一致しません。あくまでも目安と考えてください。また、家屋の構造、外気温度、使用場所によっては、お好みの温度にならない場合があります。また、「弱燃焼」になってもお部屋の温度が上がっていくことがありますので、このときはいったん運転を停止してください。

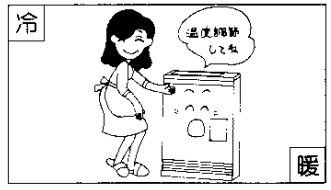
停電時の処置のしかた

- 停電時の処置
  停電になったときは、器具せんつまみ(運転レバー)を 止 にもどし、ガス元せんを止めておいてください。
- 停電後の再点火
  ガス元せんを全開にし、通常の運転操作を行ってください。

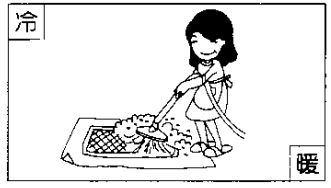
<ご注意>
使用中停電になったとき対流ファンが止まるため、器体上部が過熱します。器体上部にふれないでください。(すぐに再通電したときは、対流ファンだけ回り過熱をふせぎます。)

上手なご使用のしかた

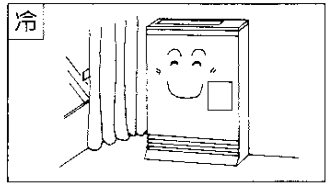
電気を節約するためにも、つぎのような使いかたをされますと効果的です。



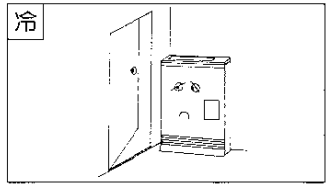
- 室内温度は適温に
  冷えすぎや暖めすぎにならないよう、温度調節を冷房運転時は「25～30℃」に、暖房運転時は「18～22℃」にあわせてご使用ください。



- エアフィルターの清掃はこまめに
  エアフィルターの目づまりは風の流れを少なくし冷・暖房効果を弱めます。ムダな電力を消費しないためにも、週一度以上、必ず掃除してください。



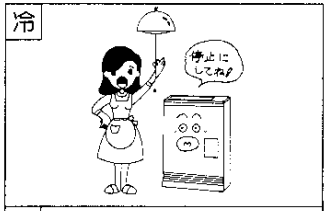
- 直射日光の当たる窓にカーテンやブラインドを
  冷房運転時、直射日光の当たる窓にはカーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
  室内にできるだけ熱源を入れないようにしてください。



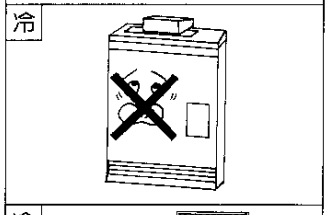
- 窓や戸の開閉は少なめに
  冷房運転時は外気が入りこみ冷房効果が悪くなります。

- 冷房用タイマーを有効に
  タイマーをご使用になり必要な時間だけ冷房運転しますと電気代の節約になります。

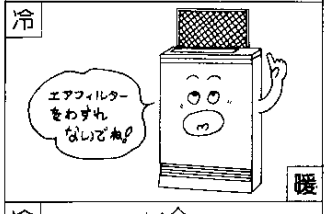
使用時のご注意



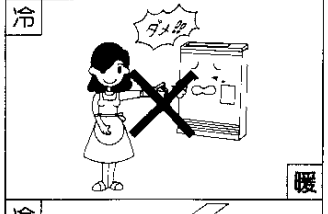
● 冷房運転中停電になったときは、いったんスイッチを「停止」にしてください。
通電されたら再び運転をしなおしてください。



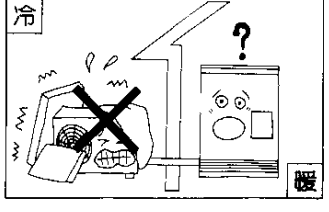
● 冷房運転時、冷風吹出口に、物を置かないでください。



● エアフィルターは必ず取り付けて運転してください。
防塵効果がなくなり、機械が汚れて故障の原因になります。また能力が低下します。

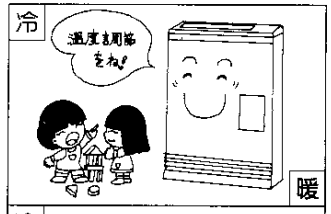


● 可燃性スプレー(ラッカー、ペイント、ヘアスプレーなど)はファンヒーターエアコンの近くで使用しないでください。
外装が変形したり暖房運転時に引火するおそれがあります。

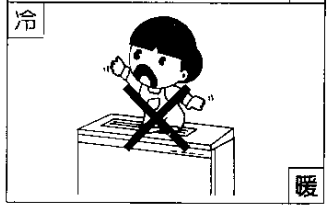


● 室内機、冷房用室外機の吸込口、吹出口はふさがないでください。
機械に無理がかかり、保護装置がはたらいたり能力低下の原因になります。

使用時のご注意②



● つぎのような方がお使いになる場合は周囲の方が常に注意して快適な室温になるように調節してあげてください。
- 乳幼児、お子さま
- お年寄り
- 病気の方



● ファンヒーターエアコンの上に腰かけたり、のったりしないでください。

安全装置が作動したときの処置方法(暖房使用時)-1

● 過熱による消火時の処置
エアフィルターが目づまりしたり、温風吹出口に障害物があったりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ、消火してしまいます。
エアフィルターの掃除や、障害物を取り除いた後、しばらく(5～6分)してから再運転してください。(電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。)

● 電流ヒューズの作動
ご使用中なんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、使用できなくなります。運転操作をしても「運転」ランプがつかなくなります。修理点検が必要です。
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

● 過熱防止用温度ヒューズの作動
万一異常過熱したときに、温度ヒューズが作動して消火します。(二重の安全装置)
この場合は、器具を冷やしても再運転できません。修理が必要です。
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

安全装置が作動したときの処置方法(暖房使用時)-2

● **停電安全装置の作動**

停電時は使用できません。安全装置が作動し、生ガスの放出を止めます。**停電中は必ず器具せんつまみ（運転レバー）を 止 にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。**

16ページの「停電時の処置のしかた」をお読みください。

● **消火センサー(安全装置)の作動**

使用中にバーナーが消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。**ゴム管を踏んだり、ガス元せんが開きたりなかったとき**や、強い風が吹いたときなどにおこります。**点検後、再運転**してください。

● **不完全燃焼防止装置の作動**

ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。**しめきった部屋で長時間使用**すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。**エアフィルターがつまっても**同様です。

このような場合に、不完全燃焼をする前に燃焼を停止する安全装置です。**不具合を点検してから再運転**してください。

● **ファンコントローラ(送風制御装置)**

電気回路中に組み込まれている送風制御装置で、燃焼停止後に器具の過熱を防止します。対流用ファンは運転停止後数分間は止まりません。回っている間は電源プラグは抜かないようにしてください。消火後すぐに電源プラグを抜いたり、電源プラグを抜いて消火しますと、器具が過熱して故障の原因になります。

<ご注意>

安全装置が作動したあと、点検して再運転しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

日常の点検・お手入れ

点検・手入れについては、下記の**日常点検以外は**お買い求めの販売店、または、もよりの大阪ガス支社に依頼してください。

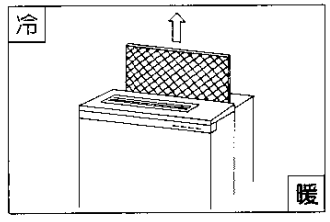
点検・手入れ前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行ってください。

また、**電源プラグを抜いてから行ってください。**

シーズン中

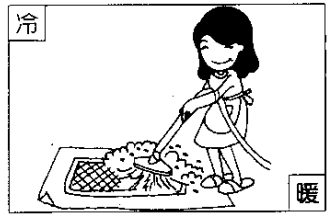
● **エアフィルターの清掃**

エアフィルターは空気中のゴミやホコリを取り除くものです。このエアフィルターにゴミやホコリがたまると風量が減って能力が低下したり運転音が大きくなりますのでシーズン始めには必ず清掃し、ご使用中は週一度以上、必ず掃除してください。



• **エアフィルターのはずしかた**

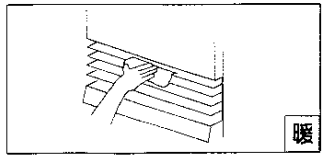
エアフィルターの把手を上に引き上げてください。



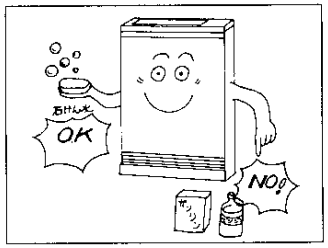
• エアフィルターを軽くたたいて汚れをおとすか、掃除機でホコリを吸いとります。特に汚れのひどいときは水洗いし、じゅうぶんに乾かしてからもとのとおりに取り付けてください。

● 温風吹出口に白い粉が付着することがありますが異常ではありません。

器具が冷えてから、やわらかい布でふきとってください。



日常の点検・お手入れ②



● 器具・外装の汚れがひどいときには石けん水をしみこませた布でふいてから、あとをよくからぶきしてください。

<ご注意>
ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、市販の液状殺虫剤などをかけないでください。化学変化をおこし、製品を著しくいためることがあります。

シーズン終了時または長期間運転しない場合

● エアフィルターは清掃してからもとどおり器具に取り付けておいてください。
● 電源プラグをコンセントから抜いてください。
● 冷房シーズン終了後は、冷風吹出口に冷風吹出口カバーをつけておいてください。
● 冷房シーズン終了後は、冷房用室外機にサービスカバーをかぶせてください。

点検整備

ご使用状態によってもかわりますが、ファンヒーターエアコンを数シーズンご使用になりますと、内部が汚れ性能が低下することがあり、通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。
点検整備はお買い上げのサービスショップにご相談ください。なお、この場合は実費が必要です。

故障・異常の見分け方と処理方法

ご使用中に、万一故障と思われることが起こりましたら、まずつぎのことをお調べになってください。

暖　房

原因＼現象	暖房運転ランプが点灯しない（赤色）	スパーク音がしない	点火しない（燃焼ランプが点灯しない）点火しにくい	ガスの臭いがする	使用中に消火する	異常な音をたてる（消えてしまう）	部屋の暖まりが悪い	処置方法
電源プラグが差し込んでない	○	○	○					電源プラグを確実に差し込む
ガス元せんの開き忘れ・開き不十分			○	○	○		○	ガス元せんを全開にする
ゴム管内に空気が残っている			○	○				運転操作をくり返してください
ゴム管の接続が不完全				○				確実に接続する
ガスの種類が違う			○	○	○	○	○	本体右側面の銘板を確認してください
ゴム管が長すぎる ゴム管の折れ曲がり・つぶれ			○	○	○		○	不具合を除き再運転してください
ゴム管のひび割れ・穴あき				○				ゴム管を交換・先を切りつめる
サーモが「低温」側になっている							○	サーモの設定より室温が高いため「弱燃焼」になっている。サーモを「高温」側にする。
換気が不十分である					○			30分に1回＊分程度換気する
フィルターがつまっている 吹出口に障害物がある			○	○	○	○	○	日常の点検手入れを実施してください。障害物を除き再運転してください。
運転（燃焼を開始）したばかりである				○				運転初期に少し臭うことがあります。
スパーク発置の故障（ニードはずれなど）		○	○					点検修理を依頼する
安全装置が作動した	○	○	○		○	○	○	点検修理を依頼する

冷　房

現象 / 原因	冷房運転ランプがつかない	冷風が出ない	室内の冷えが悪い	ブレーカーが作動する	運転音が大きい	処置方法
電源プラグがはずれている	○	○				電源プラグをコンセントに差し込む
ブレーカーが作動している	○	○				ブレーカーをセットする
タイマーつまみが「切」位置にある	○	○				タイマーを「連続」の位置にセットする
冷風吹出口カバーが取り付けられたままになっている		○				取りはずしてください
部屋が広すぎる			○			冷房時、標準適室を見なおす
冷房室温調節つまみの設定温度が高すぎる		○	○			室温調節つまみを低温側にセットする
エアフィルターにほこりがたまっている			○		○	エアフィルターの掃除をする
室外機の周囲に十分なスペースがない			○	○		室外機周囲の障害物を取りのぞく
冷風吹出口がしゃ閉されている			○			しゃ閉物を取りのぞく
室外機にサービスカバーがついたままになっている			○	○		室外機のサービスカバーを取りのぞく
窓やドアが開いている			○			窓やドアを閉める

● 処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

● 23・24ページの「故障・異常の見分け方と処理方法」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品　名……（ファンヒーターエアコン）
(2) 品　番…… 左側面下部に貼付してあります。
　室内機　44-350　　（例）
　室外機　04-267
　　04-270（マルチ）

(N)44-350(U)
大阪ガス株式会社 09

(3) 現　象（できるだけ詳しく）
(4) 道　順（できるだけ詳しく）

● ファンヒーターエアコンを移設する場合は専門の技術が必要ですので、必ずお買い上げのサービスショップにご相談ください。なおこの場合は実費が必要です。

転居される場合

● **ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区別があります。**
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料修理となります。

保証書について

● **この器具には保証書がついています。**
このファンヒーターエアコンは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特　長

1 暖房はガスファンヒーター、冷房は電気。１台の器具で効率の良い暖冷房ができます。

2 暖房下吹き出し、冷房上吹き出しのため理想的な暖冷房が得られます。

3 従来にないコンパクト、かつ低価格な暖冷房機です。

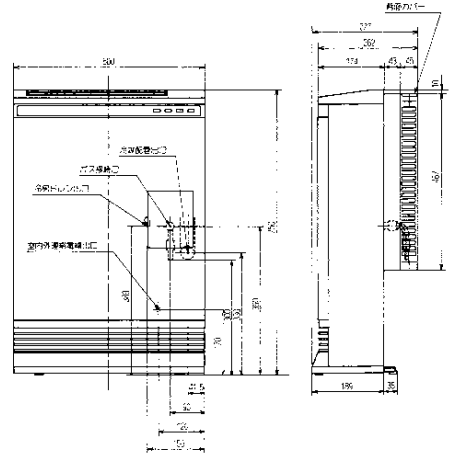
4 暖房はファンヒーターを組み込み暖房能力2200/800kcal/hの強/弱コントロール。

5 冷房はスプリットタイプで冷房能力1800kcal/h(60Hz)、冷房風量は強/中/弱３段切り替えです。

6 冷房は12時間おやすみタイマー付きです。

44-350型 ガスファンヒーターエアコン

寸法図

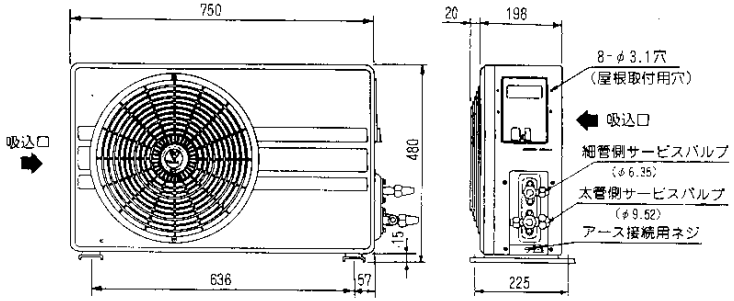


仕　様

■室内機

型式				44-350型
タイプ				据置型（セパレート型）
機能				冷暖兼用
冷暖房標準適用室				6～9畳（10～15㎡）
電気特性	電源			単相100V60Hz
	冷房	消費電力	W	630（04-267型と接続）
		運転電流	A	6.3（〃）
	暖房	消費電力	W	30
		運転電流	A	0.3
性能	冷房能力		kcal/h	1,800（04-267型と接続）
	暖房能力		kcal/h	2,200
	風量		㎥/min	冷房 強:6.4 中4.6 弱3.5　暖房 強:2.7 弱:2.0
	除湿量		ℓ/h	0.8
	騒音		ホン	冷房 強:45 中:35 弱:30　暖房 強:39 弱:30
外形寸法	高さ		mm	750
	幅		mm	500
	奥行		mm	277
製品重量			kg	25
付属品				冷風吹出口カバー(1)　背面カバー上板(1) 背面カバー側板(2)　背面カバー固定金具(4) 器具固定金具(1)　木ネジ(2)　ビス(10) 室内側ウオールキャップ(1)　配管断熱材(1)

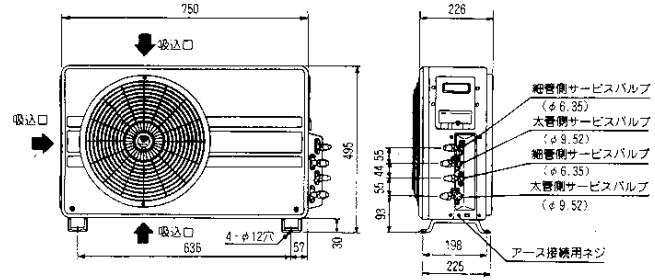
寸法図　冷房用室外機 04-267型



仕　様
■冷房用室外機

型式		04-267型
タイプ		セパレート型
機能		冷房専用
電源		単相100V 60Hz
外形寸法	高さ mm	480
	幅 mm	750
	奥行 mm	198＋20(吹出口)
騒音		ホン 42
製品重量		kg 24
付属品		サービスカバー(1)

寸法図　冷房用室外機(マルチ型) 04-270型



仕　様
■冷房用室外機

型式			04-270型
タイプ			セパレート型
機能			冷房専用
電源			単相100V 60Hz
組合せ室内機			44-350型
性能	1台運転の場合	冷房能力 kcal/h	2,000×1
		消費電力 W	870
		運転電流 A	8.7
		力率 %	100
	2台運転の場合	冷房能力 kcal/h	1,300×2
		消費電力 W	950
		運転電流 A	9.5
		力率 %	100
	始動電流 A		38
外形寸法	高さ mm		495
	幅 mm		750
	奥行 mm		226＋20(吹出口)
騒音			ホン 44
製品重量			kg 35
付属品			サービスカバー(1)、エアパージ用サービス缶(2)